

横浜市内の集合住宅を活用したIoT実証実験を開始しました

横浜市は「I・TOP横浜ラボ」の取組として横浜市住宅供給公社と連携して、集合住宅を実証フィールドとして提供し、新型コロナウイルスの感染対策への対応や、快適な住まいづくりのための新たなIoT製品・サービスの実証実験に関する提案を令和2年7月から8月にかけて募集を行い、8件を採択しました。このうち4件は、すでに取組が開始されています。

今回、実証実験への協力意向を頂いた住戸及び建物管理者と各種調整を行い、準備が整った2件について新たに実証実験を開始しました。今後、残りの提案についても順次実証実験を開始します。

本取組を通じて、「イノベーション都市・横浜」をさらに推し進めるとともに、得られる成果を郊外住宅地・団地の再生の取組にも活かしていきます。

1 実施内容

株式会社アクセルラボ	【スマートライフプラットフォーム事業】 ホームIoTサービスの住戸への直接提供によるユーザー体験の実証検証
Connected Design 株式会社	【置き配セキュリティカメラ事業】 置き配カメラに必要なストレージ容量・画像解析検知の実現性を検証

2 取組内容

(1) 株式会社アクセルラボ（東京都渋谷区） 「スマートライフプラットフォーム事業」

【対象】オクトス市ケ尾の個別住戸（15戸）

【実施期間】令和3年1月～令和3年3月（予定）

【実証内容】ドア開閉センサーや電子錠、家電コントローラーを協力住戸に設置し、機器の利用状況や利便性を調査します。

【狙い】今回の実証実験を通じ、利用状況や受けた問合せなどを基に、機能開発やカスタマーサポートを充実することや、築年数の経過している既存住宅に最新機器を設置することで、新たな付加価値を提供することを目指します。



(2) Connected Design 株式会社 (東京都世田谷区) 「置き配セキュリティカメラ事業」

【対象】 オクトス市ケ尾の個別住戸 (3戸)

【実施期間】 令和2年12月～令和3年3月 (予定)

【実証内容】 住戸の玄関前に置き配バッグと、共用廊下に動作検知カメラを設置し、組み合わせることで荷物の受け取りをサポートします。

【狙い】 本実証を通じて、カメラの録画容量や、セキュリティカメラ自体のニーズについて検証します。また、実証で得られた録画映像を基に、今後は画像解析検知の実現についても検討し、需要の高まる宅配事業のサポートとなることを目指します。



I・TOP横浜ラボ

I・TOP横浜ラボでは、実証実験の機会・場の提供を行うフィールド提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案を募集します。

提案については、横浜市、フィールド提供主体による審査・採択を行い、採択された提案は、実証実験を行うとともに、社会課題の解決、製品化・サービス化を目指します。

実証フィールドの提供

(例、横浜市の関連施設、市内事業所)

実証実験の提案募集

提案の採択

実証実験実施

YOXO
よ く ぞ
YOKOHAMA CROSS OVER



オープンイノベーションを促進するプラットフォーム

領域を超えた交流

起業から実証実験等へ発展

YOXO
BOX

スタートアップの成長を促し、オープンイノベーションを創出する拠点

「イノベーション都市・横浜」の実現

横浜市は、2019年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していき、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、

市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、「I・TOP横浜」と「LIP横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進します。

お問合せ先

【I・TOP横浜に関する事】 経済局産業連携推進課担当課長 石津 雄一郎 Tel 045-671-3591
【マンション・団地の再生に関する事】 建築局住宅再生課長 加藤 忠義 Tel 045-671-4543

※ 本件は、経済記者クラブにも配付しております